

目 次

提言要旨	1
はじめに	2
現状	3
朝食の欠食・孤食等家庭での食生活の乱れについて	3
学校給食の「食べ残し」について	6
学校給食における「食物アレルギー」について	7
問題点	8
提言 1	8
施策 1	9
食育プロジェクトチームの立ち上げ	9
単に栄養摂取の時間から楽しい時間への転換	10
提言 2	11
施策 2	12
公費負担による食物アレルギー検査の実施	12
発症時における現場での応急措置体制の整備	12
あとがき	13

【提言要旨】

学校給食における食育等の推進

～生涯にわたる健全な食生活の実現をめざして～

現
状

家庭での食生活の乱れによる、子どもへの影響が深刻なものになっている
食べ残し・食物アレルギーが、学校給食において大きな問題となっている

問
題
点

- 1 朝食の欠食による学力・体力の低下、孤食による心の発育への影響
- 2 飽食とそれに伴う偏食の広がりからみる食べ残し・短い給食時間が引き起こす食べ残し
- 3 学校給食における食物アレルギー事故が、死亡事故を含め、多数発生している

提
言

提言1

子どもに食に対する興味を持たせ、正しい知識を身につけさせるとともに家庭への啓発を行う

提言2

学校における食物アレルギーの情報の把握及び管理を行い、食物アレルギーへのよりきめ細やかな対応を行う

施
策

食育プロジェクトチームの立ち上げにより次の事業を行う

- 体験学習
農業体験、漁業体験
- 出前講座
生産者と行政による食材についての講演等

単に栄養摂取の時間から楽しい時間への転換

- 給食時間の延長
5分延長でゆとりあるランチタイム
- 延長により可能になる楽しい給食スタイルの紹介
 - ・ランチルーム給食
 - ・バイキング給食

公費負担により食物アレルギー検査を実施する。
検査データを学校・本人・保護者で把握・共有し、緊急時の対応策を徹底する

- データベースの作成
- 個人カルテの作成